



釧路管内道立広域公園の候補地決定!!

令和5年第2回定例道議会 一般質問「7月3日」

「田中ひできの質問(要旨)」



私の地元である釧路市は、道立広域公園の空白地域であるため、「釧路地方総合開発促進期成会」では、長年に渡り、釧路地域の総意として白糠町への整備要望を行ってきております。

本年3月には釧路の市民団体である「釧路管内に道立広域公園の早期整備を求める会」から1万筆を超える署名が、知事宛に提出されたところであります。

私は釧路管内の多くの皆様から、道立広域公園への大きな期待の声を聴いてきました。天候や季節に左右されない大きな屋内遊戯場が欲しい。若者世代からは、様々なイベント等が出来る広い公園が欲しい。高齢の方からも孫を連れて中標津のゆめの森公園や十勝エコロジープークまで行くには車で2時間もかかり、「もっと近くにあったら・・・」との声を多く聴いてまいりました。

このように、釧路地域の官民が一体となって求める子育てにも大きな役割を果たす新規道立広域公園について、知事は地域の声をどのように受け止め、今後、どのように取り組んでいけるのかお伺いをいたします。



鈴木知事答弁(要旨)



釧路地域においては、新たな道立広域公園整備について、平成13年から地元期成会の総意として、毎年要望を受けているほか、本年3月には地域の市民団体から屋内遊戯施設を有する公園の早期整備を求める多くの署名をいただいたところであり、公園整備に対する地域の熱い想いと受け止めているところであります。

道としては、こうした地域の声なども十分踏まえ、新たな公園の整備に向け、今後、広域公園に求められる役割について、広く地域の皆様から意見を伺うとともに、引き続き官民連携による整備や運営手法の検討を進め、子どもたちや子育て中の方々をはじめ、**公園を利用する全ての皆様のニーズに柔軟に応えられる魅力あふれる公園となるよう取り組んでまいります。**

さらに 7月12日(水) 予算特別委員会「総括質疑」において、知事は

白糠町泊別地区を12箇所目の道立広域公園の候補地として決定と答弁。



菅原局長へ要望書を手渡す河瀬さん
(左から2人目)

道立広域公園 早期整備を
振興局に市民団体 署名1万筆と要望書

釧路管内に道立公園の早期整備を求める会は14日、釧路総合振興局を訪れ、道に白糠町に道立広域公園の早期整備を求めるため、集めた1万154筆の署名を添えた要望書を提出した。

同会の発起人は河瀬幸さんと沢木雄子さん、山崎景子さんと、釧路管内を中心にインターネット交流サイト(SNS)も活用し全国に早期整備の署名を昨年5月から求め、1月31日までを集めた。

この日は、河瀬さんと山崎さん、田中英樹道議が振興局を訪れ、河瀬さんは、釧路管内に住む私たちの思いを署名を添えて要望します」と訴え、菅原裕之局長に要望書を手渡した。

要望書については河瀬さんは「私は阿寒町に住んでいるがこの町から行けるところは限られている。中標津町にはゆめの森公園があり、あのような場所が近くにあればいいのにと友達とよく話していた。その夢が実現すると聞いて、署名を集め公園整備が少しでも早く進むことを願い署名活動を開始した」と述べた。

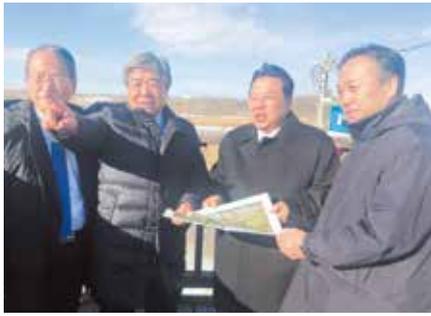
菅原局長は「道においては整備の手法や運営について地域と連携し、さまざまな角度から検討している。今回集まった署名、熱い思いを受け止め、地域にとって魅力ある公園整備ができるように引き続き検討していきたい」と語った。

(小西靖)

道立広域公園予定地の視察

【2020年1月】

道立広域公園は全道12ヶ所で供用済みとなっていますが、北海道の計画目標では19ヶ所に整備することになっています。残り7ヶ所が未整備です。厳しい財政危機にある道は、新たな道立広域公園の整備計画が動いていない状況にあります。もちろん、財政状況を見捨てるわけにはいきません。しかしながら、人口減少と少子高齢化が他県を上回るスピードで加速している北海道は、総合的な施策を講じる必要があります。釧路市は日本製紙釧路工場の撤退など人口減少にさらに拍車がかかるのではないかと危惧されています。企業進出などに加えて子育て環境の充実も必要とされています。



酪農畜産への早急な追加対策を!

【2023年2月】

別海町にて酪農畜産を営む農業者と現下の厳しい経営状況について意見交換を行いました。40名近くの酪農畜産家が、別海、標茶、中標津、厚岸、鶴居村などから来ていただきました。コロナ禍の消費減退による生産調整、飼料高騰、電気などのエネルギー高騰、雄子牛の価格下落など酪農畜産経営は、未曾有の危機にあります。

これまで国や北海道からの支援策が施されてきたもののそれを上回る窮状に、経営安定に資する追加の対策などは待たなしです。佐藤英道衆議院議員とともに国や道が連携して対策の強化をすることが求められます。



釧路空港の国際便誘致へ

釧路の活性化のために観光振興を全力で取り組みます

釧路空港の検疫体制の視察



釧路空港の検疫体制について説明を受ける佐藤(英)氏(右から2人目)ら

インバウンド誘客へ
佐藤(英)氏 空港の検疫体制を視察
北海道釧路市
公明党の佐藤英道衆議院議員はこのほど、北海道釧路市の釧路空港を訪れ、空港の充実や検疫体制の強化などについて関係者と意見を交わした。田中英樹道議と

地元市議が同行した。観光庁は今年3月、雄大な自然が手つかずの状態を残る地域性に着目し、道東地方を「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」のモデル地域に選定。その玄関口として釧路空港の環境整備が課題となっている。

同空港の管理を担う北海道エアポートの蒲生猛社長は「コロナ禍で海外からのチャーター便がなくなり、航空機の誘導や貨物の業務を担う従事者も退職した」と説明。今後の利用者増に伴う人員確保の必要性を訴えた。

また、北海道全域の検疫業務を管轄する小樽検疫所の三橋康之所長は「感染症対策に万全を期すため、医師や看護師を含めた検疫体制を整えることが重要」と話した。

佐藤氏は「道東は世界が注目する広域観光の可能性が広がる地域。受け入れ体制の強化を積極的に推進していく」と語った。

2023年5月18日 公明新聞より

魏嘉彦市長・粘信士処長と懇談

【2023年6月9日】

台湾東部最大の都市・花蓮〔かれん〕市の魏嘉彦市長、台北駐日経済文化代表処札幌分処の粘信士処長と釧路市内で懇談。さらなる交流を図ろうと語り合いました。皆様にお約束した釧路空港の国際便誘致についても非常に喜んでくださり、魏市長からは「楽しみにしています」と心強い応援をいただきました。多くの海外の方から「釧路はとても魅力的な街」と言っていた喜び嬉しく思います。釧路空港の国際便誘致に向け、さらに動いてまいります。



道政に関するご意見・ご要望をお寄せください

北海道議会議員 **田中ひでき事務所**

〒085-0046 釧路市新橋大通8丁目2-19 ミヤシタビル 3F-B
TEL 0154-65-8063・FAX 0154-65-8064



田中ひでき オフィシャルwebサイト
制作/藤新生